

「情報通信セミナーin広島2014」を開催 ～標的型サイバー攻撃の脅威に備えて～



主催者挨拶 齊藤局長

中国総合通信局(局長:齊藤一雅)は、一般社団法人テレコムサービス協会中国支部との共催により、「情報通信セミナーin広島2014～標的型サイバー攻撃の脅威に備える～」を平成26年3月13日に広島市内で開催し、一般企業、通信事業者、行政機関などから66名の参加がありました。

本セミナーは、サイバー空間における新たな脅威としての標的型サイバー攻撃が、大企業だけではなく、中小企業や自治体などに被害が拡大するなか、我が国のセキュリティ戦略や標的型サイバー攻撃の脅威に対する備えについて、専門家の講演により、理解を深めてもらうことを目的として開催したものです。

講演に先立ち、齊藤局長が、「サイバーセキュリティは、企業にとっても国家にとっても、危機管理上の、あるいは、安全保障上の最重要の課題になっており、常に最新の情報・知見を踏まえて、適切な対応を執らなければいけない。」と挨拶しました。



主催者挨拶 テレコムサービス協会
中国支部 佐野会長

最初に、我が国の情報セキュリティ戦略について、内閣官房情報セキュリティセンターの谷脇内閣審議官から、「我が国の情報セキュリティの水準を高めるため、グローバル化する脅威に対応できる高度な人材や突出した能力を有する人材の確保が必要であり、そのためには、社会全体で育成し活用するための取り組みが必要である。標的型攻撃をはじめとする本格的なサイバー攻撃への対応能力の強化を図るためには、官民における情報共有の強化が不可欠である。」との説明がありました。

続いて、適切なインターネット等の利用方法や企業が執るべき対策について、公認会計士の立場から、デロイトトーマツリスクサービス(株)の丸山氏から、「サイバー攻撃は、いまや誰であっても狙われる状況になっており、また、従来型の対策(予防的統制)では防ぎきれなくなっている。発見的統制の高度化が必要であり、マネジメントとテクノロジーの両面から体制を構築することが重要である。」と説明がありました。

中国総合通信局では、今後も安心・安全なICT利活用環境の構築を促進するため、様々な取り組みを行ってまいります。



第1部 「我が国のサイバーセキュリティ戦略」
講師 谷脇内閣審議官



第2部 「サイバー攻撃の現状と企業経営に与える影響」
講師 デロイトトーマツリスクサービス 丸山代表取締役社長



セミナー会場の様子

お問い合わせ先: 情報通信部電気通信事業課 082-222-3377